



広 報 資 料

平成28年12月27日
午後16時00分発表

問い合わせ先
第一管区海上保安本部 海洋情報部
海洋調査課長 霜鳥 史郎
TEL 0134-27-6168 (直通)

冬の使者「流氷」が紋別沖に接近

第一管区海上保安本部 海氷情報センターでは、本日、航空機による海氷観測を今季初めて実施し、オホーツク海を南下中の海氷が、紋別の沖合約90kmまで接近していることを確認しました。

1 海氷観測の日時・方法

観測日時：平成28年12月27日 午前9時06分～午後1時36分

観測方法：千歳航空基地所属 ビーチ350型航空機 (MA861

愛称：えとぴりか 機長：杉沼)による海氷目視観測

2 海氷分布状況

オホーツク海を南下中の海氷は、12月27日11時現在、紋別の沖合約90kmまで接近しています。その南端付近の氷は、小板氷とはす葉氷、砕け氷、小板氷(※)が多く見られました。

今季の海氷南下は、昨年と比べると17日程度早く、一昨年と比べると8日ほど早い南下状況です。12月に北緯46度以南で海氷が観測されたのは平成14年12月以来14年ぶりとなります。

(※)氷の種類

はす葉氷(P)	縁がまくれ上がったほぼ円形の氷塊、直径30cm～3m
砕け氷(Br)	様々な形に砕けた氷片(直径2m以下)が集まっているもの
小板氷(Cs)	直径が2mより小さい板氷

3 ホームページによる情報提供

今回の航空機による観測結果は別図のとおりです。今後、同様の観測を行った際には海氷情報センターのホームページに随時掲載していきます。

また、衛星画像等から解析した海氷の分布状況を「海氷速報」として毎日提供していきますのでご利用下さい。(午後5時頃更新)

海氷情報センターホームページ

URL <http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KAN1/1center.html>

検索サイトから、キーワード「海氷情報センター」で検索

4 海氷写真等の提供

本日撮影した流氷の写真・映像を提供しますので、ご希望の社は、当本部総務部総務課広報・地域連携室（内線：2118）までお問い合わせ下さい。

記 海氷の分布エリアに描かれた数字は海面に対して氷に覆われている海面の占める割合を10分比で表したものです。

別 図

